

6. 診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

手術術式のコード番号で分類しています。手術を行った時点での診療科で分類しているので、内科系の診療科でも数値が計上されています。

令和7年度 診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

【定義】

- ・手術術式の点数表コード（Kコード）による集計
- ・輸血関連（K920\$）及び創傷処理等の軽微な手術は除外

循環器内科

Kコード	術式名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢
K5951	経皮的カテーテル心筋焼灼術（心房中隔穿刺、心外膜アプローチ）	615人	1.44日	2.17日	0.65%	69.52歳
K616	四肢の血管拡張術・血栓除去術	135人	1.72日	3.80日	9.63%	75.30歳
K555-22	経カテーテル弁置換術（経皮的大動脈弁置換術）	118人	4.27日	9.78日	11.86%	84.59歳
K5493	経皮的冠動脈ステント留置術（その他）	109人	1.94日	2.28日	0.92%	73.94歳
K5952	経皮的カテーテル心筋焼灼術（その他）	89人	1.28日	1.12日	0.00%	62.52歳

コメント文

手術術式から見た場合も診療群分類番号で集計した場合と概ね同様の結果ですが、昨年度から引き続いて、四肢の血管拡張術・血栓除去術が増加傾向にあります。
TAVI（経カテーテル的大動脈弁留置術）を受ける患者さんは非常にご高齢の患者さんが多く、また、心不全増悪により緊急入院や緊急転院受け入れとなり、心不全の治療後同一入院期間内にTAVIを行う場合も相当数含まれており、手技前後の入院日数が増える原因となっています。

糖尿病・内分泌内科

Kコード	術式名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢
K4611	甲状腺部分切除術、甲状腺腫摘出術（片葉のみ）	13人	1.15日	6.54日	0.00%	72.08歳
K4631	甲状腺悪性腫瘍手術（切除）（頸部外側区域郭清を伴わない）	10人	1.00日	5.30日	0.00%	67.20歳
K4633	甲状腺悪性腫瘍手術（全摘及び亜全摘・頸部外側区域郭清を伴わない）	—	—	—	—	—
K4641	副甲状腺（上皮小体）腺腫過形成手術（副甲状腺摘出術）	—	—	—	—	—
K462	バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）	—	—	—	—	—

コメント文
甲状腺や副甲状腺の手術は頭頸部外科が担当しますが、術前、術後の管理は当科が連携して行っています。また甲状腺癌の場合、甲状腺癌術後当科で放射性ヨード内用療法を行っています。これ以外にも泌尿器科で手術する褐色細胞腫の術前調整、脳外科の下垂体手術後の負荷試験なども行っています。

腎臓内科

Kコード	術式名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢
K61214	末梢動静脈瘻造設術（内シャント造設術）（単純）	57人	4.25日	9.77日	17.54%	71.95歳
K616-41	経皮的シャント拡張術・血栓除去術（初回）	15人	1.53日	1.47日	0.00%	77.53歳
K635-3	連続携行式腹膜灌流用カテーテル腹腔内留置術	10人	4.90日	16.30日	0.00%	67.10歳
K635-4	腹腔鏡下連続携行式腹膜灌流用カテーテル腹腔内留置術	—	—	—	—	—
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	—	—	—	—	—

コメント文

当科では、末期腎不全の患者さんに対しては、腎代替療法として院内で血液透析・腹膜透析・生体腎移植を実施しており、それに伴う内シャント作製、内シャントPTAや腹膜透析用カテーテル留置術の手術症例数が増えている。

脳神経内科

Kコード	術式名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢
K664	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	32人	29.47日	25.94日	65.63%	70.06歳
K178-4	経皮的脳血栓回収術	32人	0.72日	25.84日	65.63%	78.19歳
K609-2	経皮的頸動脈ステント留置術	10人	5.10日	6.70日	30.00%	74.90歳
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2cm未満）	—	—	—	—	—
K386	気管切開術	—	—	—	—	—

コメント文

脳梗塞の急性期治療として血管内に詰まった血栓を回収して血流を再開させるものや、動脈硬化で細くなった頸動脈を広げてステントを留置する治療があります。脳神経内科医の中にも脳血管内治療専門医が複数名おり、当科でもこの治療を脳外科と協力して行っています。胃瘻造設術は、神経難病や脳血管障害が原因で嚥下がうまくできない場合に造設します。気管切開は人工呼吸を要する場合などに実施される治療です。

消化器内科

Kコード	術式名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	211人	0.98日	8.13日	14.69%	72.93歳
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2cm未満）	180人	0.36日	1.18日	0.56%	69.10歳
K6532	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術（早期悪性腫瘍胃粘膜）	139人	0.99日	4.37日	0.00%	74.18歳
K654	内視鏡的消化管止血術	108人	0.46日	5.36日	14.81%	71.48歳
K6871	内視鏡的乳頭切開術（乳頭括約筋切開のみ）	66人	0.83日	3.77日	10.61%	70.52歳

コメント文

消化器内科での手術手技としては、早期胃がんや早期大腸がん、大腸ポリープに対する内視鏡的切除（ESD/EMR）が最多となっています。大腸がんの発生予防のための外来でのコールドポリペクトミーも合わせると年間2000件を超える大腸ポリープ切除を行っております。また、昨今増加傾向にある、膵胆道系腫瘍にたいするステント留置術も多く経験しています。緊急内視鏡治療としては、出血性潰瘍に対する止血術が多いですが、昨今の抗血栓薬服用者の増加に伴い、憩室出血などに対する小腸結腸内視鏡的止血術も増加しています。

呼吸器内科

Kコード	術式名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢
K6151	血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）（止血術）	13人	3.38日	10.69日	7.69%	74.85歳
K496-2	胸腔鏡下膿胸膜又は胸膜肺底切除術	11人	3.36日	26.55日	36.36%	71.18歳
K5131	胸腔鏡下肺切除術（肺嚢胞手術（楔状部分切除））	—	—	—	—	—
K386	気管切開術	—	—	—	—	—
K6154	血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）（その他）	—	—	—	—	—

血液内科

Kコード	術式名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢
K9212□	造血幹細胞採取（末梢血幹細胞採取）（自家移植）	19人	4.32日	1.79日	5.26%	60.47歳
K922-2	CAR発現生T細胞投与	10人	11.20日	25.10日	0.00%	63.10歳
K921-31	末梢血単核球採取（採取のみ）	—	—	—	—	—
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	—	—	—	—	—
K6262	リンパ節摘出術（長径3cm以上）	—	—	—	—	—

コメント文

移植後エンドキサンを用いたHLA半合致血縁者間移植は、HLA適合ドナーがない場合の同種造血幹細胞移植の方法として、急速に症例が増加しています。また、再発・難治悪性リンパ腫を対象としたCAR-T療法は、現在、当院は3製剤が使用可能であり、症例数も増加しています。

腫瘍内科

Kコード	術式名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢
K654	内視鏡的消化管止血術	10人	1.60日	18.80日	30.00%	76.60歳
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	—	—	—	—	—
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	—	—	—	—	—
K800-2	経尿道的電気凝固術	—	—	—	—	—
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径 2 c m未満）	—	—	—	—	—

コメント文

腫瘍内科の患者さんは症状緩和や治療目的のため様々な処置を行うことがあります。消化管出血に対する内視鏡的止血、消化管や胆道狭窄に対するステント留置、化学療法や静脈栄養を目的とした中心静脈（CV）カテーテル留置や経尿道的尿管ステント留置など、他科の協力のもとで実施しています。

総合内科

Kコード	術式名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径 2 c m未満）	13人	7.00日	8.54日	30.77%	76.08歳
K637-2	経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術	10人	2.60日	22.10日	60.00%	76.70歳
K084	四肢切断術（大腿）等	—	—	—	—	—
K654	内視鏡的消化管止血術	—	—	—	—	—
K664	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔 鏡下胃瘻造設術を含む）	—	—	—	—	—

新生児科

Kコード	術式名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢
K9131	新生児仮死蘇生術（仮死第1度）	21人	0.00日	24.67日	9.52%	0.00歳
K9132	新生児仮死蘇生術（仮死第2度）	18人	0.17日	36.06日	0.00%	0.00歳

コメント文
新生児仮死は出生時の呼吸循環不全に起因する症候群で、脳性麻痺などの神経学的後遺症の原因となります。新生児仮死の標準的評価尺度としてアプガースコアがあり、呼吸、心拍数、皮膚色、筋緊張、反射の5項目に関して、各項目 0～2点で評価し、合計点で判定し、3～6（ないし7）点を第1度（軽症）新生児仮死、0～2点を第2度（重症）新生児仮死として、その重症度を階層化しています。仮死第2度の重症グループは、在院日数が長い傾向があります。

外科

Kコード	術式名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	192人	0.39日	2.90日	3.13%	64.58歳
K719-3	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術 等	86人	2.60日	9.33日	1.16%	72.62歳
K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）	84人	0.15日	2.08日	1.19%	71.27歳
K718-21	腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴わないもの）	72人	0.25日	2.15日	1.39%	39.64歳
K6335	鼠径ヘルニア手術	53人	0.26日	1.58日	0.00%	73.09歳

コメント文

腹腔鏡下の胆嚢摘出術・鼠経ヘルニア修復術は、手術当日入院、翌日退院を基本とすることで入院期間の短縮が達成されています。虫垂炎はほぼ緊急手術症例ですが、当院では全身麻酔下の腹腔鏡下虫垂切除術を基本としています。それにより術後経過はスムーズに改善し、術後1.87日で退院という短期回復を成し遂げています。

悪性疾患の手術数は結腸癌が最も多く、緊急症例を除きほぼ全症例が腹腔鏡・またはロボット支援手術であり、術後入院期間は平均10.7日と短く、転院率も極めて低くほぼすべての方が自宅退院されています。

以上より、当院では低侵襲手術を積極的に導入することにより、術後の合併症は少なく早期に自宅退院出来ていることがわかります。

乳腺外科

Kコード	術式名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢
K4762	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴わない））	109人	0.78日	1.40日	0.00%	61.74歳
K4763	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術（腋窩部郭清を伴わない））	68人	0.81日	6.12日	0.00%	64.66歳
K4765	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除を併施しない）	33人	0.52日	6.67日	0.00%	60.15歳
K4742	乳腺腫瘍摘出術（長径5 c m以上）	18人	0.00日	1.11日	0.00%	47.28歳
K4741	乳腺腫瘍摘出術（長径5 c m未満）	12人	0.08日	1.25日	0.00%	49.17歳

コメント文

乳房の悪性腫瘍の大部分は乳癌です。乳癌の病理検査、超音波検査、マンモグラフィ、MRIなどから乳癌の広がり、性質を診断し、手術の術式を決めていきます。乳房の一部を取るのが乳房部分切除術で、乳房を全部取るのが乳房切除術です。乳癌から最初に流れ込む腋の下のリンパ節を取ってそこに乳癌が転移しているかどうかを調べる方法をセンチネルリンパ節生検といいます。乳癌から最初に流れ込むリンパ節に乳癌がわずかしこ転移していない場合、それ以上腋の下のリンパ節を取ることはしません。このことを腋窩部郭清を伴わないもの、として表現します。乳癌から最初に流れ込むリンパ節にある程度以上転移が見つかった場合、その周囲の転移する可能性のある脇の下のリンパ節をほぼ全部取することを腋窩部郭清を伴うもの、と表現しています。乳癌が直接胸の筋肉まで広がっていない場合、筋肉は温存し、胸筋切除を併施しないもの、と表現されます。

心臓血管外科

Kコード	術式名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢
K552-22	冠動脈、大動脈バイパス移植術（人工心肺不使用）（2 吻合以上）	45人	1.80日	18.78日	8.89%	69.82歳
K5551	弁置換術（1 弁）	32人	3.47日	23.25日	21.88%	71.50歳
K5606	大動脈瘤切除術（腹部大動脈（分枝血管の再建））	29人	2.62日	14.86日	3.45%	73.07歳
K6154	血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）（その他）	22人	1.00日	1.50日	4.55%	79.14歳
K5612□	ステントグラフト内挿術（腹部大動脈）	19人	0.95日	6.26日	5.26%	78.84歳

コメント文

外来に来られて手術の予定を立てる予定手術の場合は、冠動脈バイパス術・弁形成術・弁置換術・ステントグラフト内挿術において、多くの場合、手術前日に入院します。腹部大動脈瘤に対する開腹手術の場合は、手術2-3日前に入院します。冠動脈バイパス術は、90%以上で人工心肺装置を使用せずに施行しております。80歳以上の高齢者に対しても、様々な臓器の保護に細心の注意を払って手術を行うことで、心臓や大動脈の手術を含め、手術の安全性を高めております。□

呼吸器外科

Kコード	術式名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K514-23	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超える）等	106人	1.65日	8.39日	2.83%	72.02歳
K514-21	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（部分切除）	34人	1.47日	5.29日	2.94%	70.53歳
K5131	胸腔鏡下肺切除術（肺嚢胞手術（楔状部分切除））	29人	1.17日	4.14日	0.00%	39.86歳
K514-22	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除）等	29人	1.45日	5.59日	0.00%	69.10歳
K504-2	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器使用）等	16人	1.06日	4.19日	0.00%	60.94歳

コメント文
肺悪性腫瘍(原発性肺癌・転移性肺腫瘍)に対する手術が最も多く、気胸・縦隔腫瘍が続きます。原発性肺癌は肺葉切除または肺区域切除、転移性肺腫瘍(他臓器のがんが肺に転移したもの)や良性肺腫瘍に対しては、腫瘍の存在する領域のみを切除する肺部分切除がそれぞれの標準術式ですが部位によっては区域切除や肺葉切除が必要となる場合があります。気胸は平均術前日数が1.17日と患者さんの社会的な早期復帰を目標として可及的速やかに手術を施行できています。区域切除は前年よりやや減少しましたが、2cm以下の肺癌に対しては肺葉切除と区域切除が同等の予後であることが報告されています。区域切除は肺葉切除と比較するとやや複雑ですが、近年の手術技術(3D-CT、ICGによる区域間同定、ロボット支援下手術、気管支鏡下マッピング)の導入により、肺がんおよび転移性肺腫瘍に対する区域切除の件数が増えることが予想されます。これらの技術を使用して安全で低侵襲な手術を引き続き提供していきたいと考えています。

脳神経外科

Kコード	術式名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢
K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	59人	0.29日	4.17日	32.20%	76.25歳
K1781	脳血管内手術（1箇所）	49人	2.00日	25.57日	30.61%	66.80歳
K178-4	経皮的脳血栓回収術	34人	0.06日	42.24日	73.53%	74.97歳
K1783	脳血管内手術（脳血管内ステント）	29人	2.00日	6.10日	6.90%	63.38歳
K6154	血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）（その他）	25人	3.72日	5.80日	8.00%	57.00歳

コメント文

当院の脳神経外科では未破裂・破裂脳動脈瘤の治療として、脳血管内手術や開頭手術を多数行っています。また、脳神経外科と脳神経内科が一体となった診療チームで24時間365日対応し、経皮的脳血栓回収術も積極的に行っています。そのほか、頭部外傷、脳腫瘍、下垂体腫瘍、脊椎疾患の手術も行っています。当科の実績については診療科別統計も併せてご覧ください。

整形外科

Kコード	術式名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢
K0821	人工関節置換術（膝） 等	233人	1.67日	10.06日	90.99%	72.84歳
K0461	骨折観血的手術（大腿） 等	163人	0.98日	13.85日	60.74%	69.67歳
K0462	骨折観血的手術（前腕） 等	71人	1.25日	7.83日	25.35%	57.75歳
K0811	人工骨頭挿入術（股）	53人	1.34日	15.53日	86.79%	83.47歳
K0483	骨内異物（挿入物を含む）除去術（下腿） 等	47人	0.26日	1.66日	0.00%	40.21歳

コメント文

人工関節置換術、人工骨頭挿入術は、最小限の侵襲で最大の治療効果が期待できるように治療を工夫し、可及的に合併症の発生を防ぎ、クリニカルパスを適用して早期に社会復帰できるようにしています。転倒事故、交通事故、労災事故、スポーツなどによる運動器の外傷においても、より早期に社会復帰、スポーツ復帰が可能となるように、適切な手術・治療を行っております。

皮膚科

Kコード	術式名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢
K0072	皮膚悪性腫瘍切除術（単純切除）	93人	0.59日	3.70日	1.08%	75.41歳
K013-22	全層植皮術（25cm ² 以上100cm ² 未満）	18人	8.28日	10.33日	11.11%	74.61歳
K0052	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径2cm以上4cm未満）	17人	0.00日	1.47日	0.00%	46.71歳
K0063	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外・長径6～12cm）（6歳以上）	11人	0.64日	2.82日	0.00%	56.45歳
K0062	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径3cm以上6cm未満）	10人	0.20日	2.30日	0.00%	54.30歳

コメント文

手術に関しては他病院と比較し、当科が専門的に取り組んでいる皮膚悪性腫瘍の手術症例が多い印象があります。最近は虚血肢関連のデブリドマン壊死性筋膜炎関連のデブリドマン、植皮術が増加しています。

形成外科

Kコード	術式名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢
K333	鼻骨骨折整復固定術	47人	0.00日	1.00日	0.00%	29.30歳
K227	眼窩骨折観血的手術（眼窩ブローアウト骨折手術を含む）	22人	0.05日	1.32日	0.00%	33.32歳
K427	頬骨骨折観血的整復術	17人	0.00日	1.24日	0.00%	45.82歳
K476-4	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）	15人	0.27日	4.27日	0.00%	51.67歳
K4763	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術（腋窩部郭清を伴わない））	—	—	—	—	—

コメント文

当院の特徴として、救急患者が多く、顔面外傷、体表外傷を専門とする当科では、外傷患者は非常に多い状況です。特に顔面骨骨折は積極的に手術をする方針としており、手術症例としては多くなっています。鼻骨骨折は、全身麻酔下で非観血的整復術を行っております。そのほうが十分に整復でき結果が良いと考えています。日帰りまたは手術当日一泊入院がほとんどです。頬骨・上顎骨骨折はすべての症例で、生体分解性のプレートを使用し固定しています。眼窩ブローアウト骨折も積極的に手術を行っています。こちら、生体分解性シートを用いています。骨折の治療では、皮膚切開はされませんが、顔面ですので、できる限り創が目立たなくなる用な工夫をして手術をしています。乳房再建は患者さんの希望に応じて人工乳房インプラント、自家組織移植を用いて行っています。

泌尿器科

Kコード	術式名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢
K80364	膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）（電解質溶液利用）	174人	0.82日	2.68日	0.57%	77.13歳
K843-4	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる）	84人	1.00日	6.12日	0.00%	72.07歳
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	83人	0.41日	7.23日	28.92%	76.08歳
K773-51	腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術支援機器・7センチ以下）	67人	1.06日	6.18日	1.49%	66.67歳
K7811	経尿道的尿路結石除去術（レーザー）	42人	3.90日	4.67日	19.05%	73.50歳

コメント文
当科のパスでは、膀胱癌の経尿道的内視鏡切除術では手術前日または当日に入院して内視鏡手術を行い、術後1日目に尿道カテーテルを抜去し、術後2日目に退院としています。前立腺全摘除術はロボット支援によるもので、前日入院、術後5日目に尿道カテーテルを抜去し術後6日目に退院としています。腎癌もロボット支援による部分切除術で1週間程度の入院になります。上で記載したように、救急で入院された敗血症を伴う尿路結石にはまず尿管ステントを留置して感染のコントロールを行います。一週間ほどで一旦退院あるいは転院していただき、状態が落ち着いたらレーザーで内視鏡的に碎石を行います。経尿道的尿路結石除去術では尿路感染のコントロールのため手術1-2日前に入院し、手術後1-2日目に尿管ステント、尿道カテーテルを抜去し3日目に退院としています。

産婦人科

Kコード	術式名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢
K8882	子宮附属器腫瘍摘出術（両側）（腹腔鏡）等	146人	0.96日	3.16日	0.00%	45.58歳
K877-2	腹腔鏡下腔式子宮全摘術等	128人	1.00日	4.05日	0.00%	48.23歳
K8981	帝王切開術（緊急帝王切開）	94人	6.16日	5.95日	0.00%	33.34歳
K867	子宮頸部（腔部）切除術	79人	0.04日	1.05日	0.00%	42.23歳
K889	子宮附属器悪性腫瘍手術（両側）	49人	1.61日	9.14日	8.16%	60.16歳

コメント文

産婦人科では悪性腫瘍の手術を多く行っており兵庫県内でも有数ですが、同時に良性腫瘍に対する手術も多く行っています。

手術症例で最も多いのは、卵巣の良性腫瘍、いわゆる卵巣嚢腫などに対する子宮附属器腫瘍摘出術です。腹腔鏡手術を積極的に行っており、平均術後日数は3.2日となっています。

2番目に多い手術は、子宮筋腫などの子宮の良性腫瘍に対する腹腔鏡下腔式子宮全摘術等です。平均術後日数は4.1日で、低侵襲な腹腔鏡手術を積極的に行っています。

3番目に多い手術は、緊急帝王切開術です。母体や胎児に危険が及ぶような場合に緊急で行う手術で、平均術後日数は5.9日となっています。

4番目に多い手術は、子宮頸癌の初期や前癌状態に対して行う子宮頸部（腔部）切除術です。短期入院で行っており、平均術後日数は1.1日となっています。

5番目に多い手術は、卵巣癌などの卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍に対する手術です。進行した悪性腫瘍に対する手術も多く行っており、平均術後日数は9.1日となっています。

当科の実績については診療科別統計も併せてご覧ください。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

Kコード	術式名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢
K3772	口蓋扁桃手術（摘出）	96人	1.00日	5.41日	0.00%	29.00歳
K328	人工内耳植込術	43人	1.00日	4.84日	0.00%	35.84歳
K3191	鼓室形成手術（耳小骨温存術）	37人	0.97日	2.54日	0.00%	45.32歳
K368	扁桃周囲膿瘍切開術	37人	0.30日	3.86日	0.00%	37.57歳
K340-6	内視鏡下鼻・副鼻腔手術4型（汎副鼻腔手術）	29人	0.97日	5.38日	0.00%	58.38歳

コメント文

人工内耳手術や鼓室形成術といった耳の専門的な手術が多いのが当科の特徴ですが、口蓋扁桃摘出術や内視鏡下鼻・副鼻腔手術4型（汎副鼻腔手術）など耳鼻咽喉科の基本手術もまんべんなく行なっています。人工内耳手術の平均年齢は35.84歳となっていますが、実際の患者さんは0-1歳の乳幼児と60-80代の高齢者の2群に分かれています。いずれの手術においても術後平均4～5日で退院となっており、その他の手術と共に術後経過が良好であることがわかります。

膠原病リウマチ内科

Kコード	術式名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径 2 c m未満）	11人	8. 27日	17. 55日	9. 09%	70. 09歳
K616-41	経皮的シャント拡張術・血栓除去術（初回）	—	—	—	—	—
K6261	リンパ節摘出術（長径 3 c m未満）	—	—	—	—	—
K6262	リンパ節摘出術（長径 3 c m以上）	—	—	—	—	—
K61214	末梢動静脈瘻造設術（内シャント造設術）（単純）	—	—	—	—	—